

③多様な教育ニーズ支援プログラム

不登校出現割合は増加傾向にあり、今後、子どもたちを取り巻く教育ニーズが多様化・複雑化していくことが予想される中、学校が安全・安心な場所であるとともに、誰一人取り残されない学びを実現できるよう、学びの場づくりを推進する必要があります。



授業中のグループでの対話

🏠 生き生き指標

●「学校に行くのは楽しい」と回答した児童生徒の割合

小学校6年生 85.6% ➡ **87.0%**

中学校3年生 85.5% ➡ **87.0%**

●小・中・高等学校における児童生徒1千人当たりの新規不登校児童生徒数の全国平均との比較値（全国平均を100とした場合の本県の比較値）

87.6 ➡ **85.0**

●小・中・高等学校における不登校児童生徒のうち学校内外の機関等で相談・指導等を受けた児童生徒の割合

78.1% ➡ **80.0%**

📋 重点施策

■魅力ある学校づくりの推進

学校を誰もが通いたくなる魅力ある場所とし、自己決定力や多様な他者を認めながら協力する力を育成します。再編整備アクションプランに基づく教育体制の整備を行うとともに、次期岡山県立高等学校教育体制整備実施計画の策定に向け、高等学校教育研究協議会を新たに設置します。

■「チーム学校」による不登校等の早期支援

スクールソーシャルワーカー等の専門家の活用などにより、学習支援や生活支援を徹底することで、誰もが安心して通える長期欠席・不登校等を生まない魅力ある学校づくりを推進します。

■不登校児童生徒等の学びの場の確保

どのような状態の子どもでも学びにつながるができるよう、安心して学習・生活できる居場所を確保するとともに、オンライン上の新たな居場所など多様な学びの場を提供します。

🎯 推進施策

- ☐ 家庭教育支援チーム等による家庭・地域の教育力の向上
- ☐ 特別支援教育の充実



オンライン応援室「まんまリンク」



岡山県教育支援センター「My Place」